

## 2025 年度 第 10 回WEBアンケート調査報告書

### 1 調査名

「障害についての理解や配慮」

### 2 調査期間

令和 7 年 12 月 26 日(金)午前 9 時 ～ 令和 8 年 1 月 10 日(土)午後 5 時

### 3 調査方法

市内在住、在勤、在学の方が対象。市ホームページに記載している入力フォーム(外部リンク:ちば電子申請サービス)より、無記名で回答。

### 4 回答結果

Q22:障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあう暮らしを目指すことを「共生社会」と言います。考え方を知っていましたか。

(1 つだけ)

[n(回答者数)=1,704]

考え方を知っていた	826	48.5%
言葉だけ知っていた	506	29.7%
知らなかった	372	21.8%

Q23:市では「障害者週間(※10)」を中心に障害のある人に対する理解を深めるために、さまざまな行事や催しを行っています。あなたはこのような行事や催しへ参加したことはありますか。

※10 広く障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障害者があらゆる分野の活用に積極的に参加する意欲向上のために障害者基本法で定められており、毎年 12 月 3 日から 9 日までの 1 週間を期間としている。(1 つだけ)

[n(回答者数)=1,704]

毎年参加している →Q25 へ	13	0.8%
何度か参加したことがある →Q25 へ	113	6.6%
参加したことがない	1,578	92.6%

Q24: (Q23 で「参加したことがない」と回答した方)

どのような行事や催しなら参加してみたいと思いますか。(いくつでも)(入力必須)

[n(回答者数)=1,578]

障害のある人たちがつくった食品、小物類などの販売イベント	600	38.0%
障害のある人たちが作成した絵画等展示会・作品展	526	33.3%
障害のある人たちの演劇やコンサート	253	16.0%
障害のある人のことをテーマにしたセミナーやシンポジウム	246	15.6%
その他( )30 字以内	26	1.6%
特になし	488	30.9%

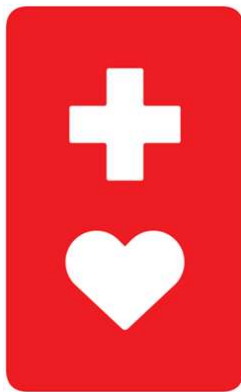
Q25:あなたは、障害のある人が困っているとき、手助け(声かけ、荷物等の持ち運び、横断歩道など渡るとき)の付き添い、聞こえない方との筆談など)をしたことがありますか。

(1 つだけ)

[n(回答者数)=1,704]

ある(今後もしたい)	837	49.1%
ある(今後はしたくない)	38	2.2%
ない(今後はしたい)	689	40.4%
ない(今後もしたくない)	140	8.2%

Q26-1:以下の画像はヘルプマークです。障害のある方や妊娠初期の方などが、援助を必要としていることを周囲の方々に知らせるために作られたマークです。



Q26-2:あなたは、Q26-1 のヘルプマークについて知っていましたか。

(1 つだけ)

[n(回答者数)=1,704]

知っていた	1,383	81.2%
知らなかった(見たことがある)	160	9.4%
知らなかった(見たこともない)	161	9.4%

Q27:本市では、2025年6月に「千葉市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」を施行し、手話が独自の文法体系を持つ言語である理解の促進、普及を目指すこととしています。あなたは、手話を学んだり、親しむ機会がありますか。

(1 つだけ)

[n(回答者数)=1,704]

ある(今後も学びたい)	167	9.8%
ある(今後は学ぶ予定はない)	84	4.9%
ない(機会があれば学びたい)	964	56.6%
ない(今後も学ぶ予定はない)	489	28.7%

Q28-1: 公共施設や商業施設などには以下の画像のような障害者等用駐車区画が設置されています。ここは、歩行が困難又は移動に配慮が必要と認められる人(障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦、けが人など)があらかじめ利用証の交付を受けて、適正に利用するための区画です。



Q28-2: Q28-1 を「パーキング・パーミット制度」といいますが、この区画の設置を知っていましたか。

(1 つだけ)

[n(回答者数)=1,704]

知っていた(同区画の適正利用に関するルール・マナーを守っている)	929	54.5%
知っていた(同区画の適正利用に関するルール・マナーは気にしてしない)	93	5.5%
知らなかった	682	40.0%